

伊能忠敬翁生誕280年記念講演会

伊能忠敬翁の偉業を生む基盤 と学者楫取魚彦翁

伊能忠敬翁は延享2（1745年）、九十九里町に生まれました。
本年度当会では、生誕280年を記念して、忠敬翁の偉業を生み出した在方町佐原の文化的土壌に注目し、「伊能忠敬翁の偉業を生む基盤」と学者楫取魚彦翁」と題して講演会を開催します。

江戸後期、在方町の佐原は「関東灘」といわれるような分厚い経済を基盤に、「町（町内）」を単位とした「練り物祭礼（山車祭り）」が盛んになりました。また、学芸の面では、多くの人々に役立つ実用的な文化が生み出され、明治期以降まで長く利用され、近代国民文化の先駆けとなりました。その代表例が、最先端の天文学を応用して正確な地図をつくるという忠敬翁の偉大な業績でした。しかし、そればかりではありません。後代の清宮秀堅翁は、下総の一国地誌を著し、西洋の事項も取り入れた年表を初めて刊行しました。また、前代の同族、楫取魚彦（伊能景良）翁は、我が国初のご語用例時典を刊行しています。忠敬翁にも大きな影響を与えた在方町佐原の優れた文化的土壌を、今回は楫取魚彦翁をとりあげてみていきます。

演題 「伊能忠敬翁の偉業を生む基盤
～ 和学者楫取魚彦翁 ～」

講師 酒井 右二 氏
（伊能忠敬翁顕彰会会員・元立教大学文学部兼任講師）

期日 2026年 1月24日（土） 入場無料

時間 開場 13:30 開始 14:00

会場 みんなの交流拠点 コンパス
4階 小野川ホール（定員120名）

※ 入場には事前の申し込みが必要です。

（申し込み期間2026年 1月19日（月）まで）

○ WEBでの申込みはQRコードの専用フォームから

○ 電話でのお申込み・お問合せは

佐原商工会議所・伊能忠敬翁顕彰会事務局まで

電話 0478-54-2244

主催 伊能忠敬翁顕彰会

共催 江戸優り佐原文化芸術事業推進委員会 佐原古文書学習会



参考画像



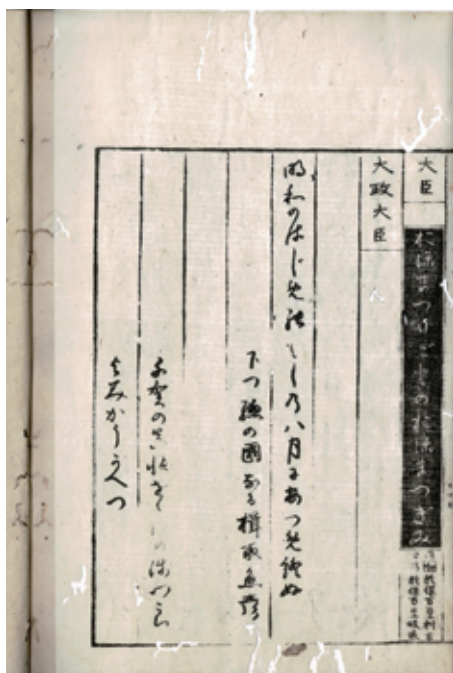
伊能図中図（東京国立博物館蔵） 千葉県域



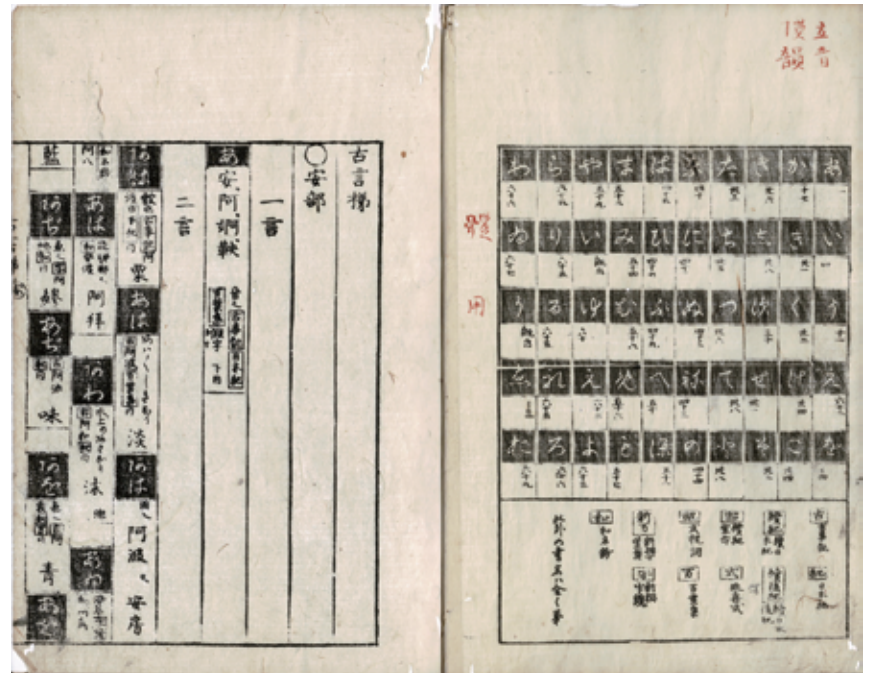
忠敬肖像画（伊能忠敬記念館蔵）



魚彦肖像画
（国立歴史民俗博物館史料目録 11 より）



古言梯（末尾ページ）



古言梯（目次と初ページ）



講師プロフィール

■ 酒井 右二（佐原古文書学習会会長、香取市文化財保護審議会副会長、伊能忠敬翁顕彰会会員）
佐原や千葉県を中心とした近世地域史の研究。早稲田大学第二文学部非常勤講師、立教大学文学部兼任講師、国立歴史民俗博物館の共同研究員、千葉県史編さん近世史部会専門員などを歴任。千葉県史のほか県内の自治体史の編纂にもあたる。